

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	06-01-16-05
事務事業名	旅券発行事務		根拠法令・要綱等 旅券法ほか
事業開始年度	平成18年10月～		
総合計画	大項目	基本目標	健全で自立したまちづくり
	中項目	基本施策	簡素で効率的な行政運営
	小項目	施策	その他の事務管理
問合せ先	担当課(室)	市民課	職・氏名 市民係長 大村恭子
電話	0869-64-1818		

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市内に住所または居所を有する住民
目的(何のために)	旅券の交付を受ける住民サービスの向上
行政活動(どのような方法で)	旅券の申請及び交付に関する事務を適切かつ円滑に処理する
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	県から市に事務が移譲され、住所地等での申請受付ができることにより利便性が向上した。また本籍地が市内であればワンストップサービスが実現できるようになった。

事業の実績							
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	新規発給	件		-	445	834	
	記載事項の訂正	件		-	2	9	
	紛失	件		-	0	3	
	増補	件		-	1	3	
	渡航先の変更	件		-	0	0	
	事業費	直接事業費	千円		-	1,972	2,275
		人件費			-	783	3,165
		事業費計			0	2,755	5,440
	財源	国県支出金	千円		-	0	0
受益者負担				-	0	0	
市一般財源				-	0	0	
必要人員	人		-	0.09	0.95		
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	旅券(パスポート)の新規発給件数		説明				
	結果指標量	件		-	445	834	
	対前年比	%		-	-	187.4%	
	活動コスト	円		-	2,736,551	5,343,887	
単位当たりコスト	円		-	6,150	6,408		
結果指標	旅券(パスポート)の記載事項の訂正の発給件数等		説明				
	結果指標量	人		-	3	15	
	対前年比	%		-	-	500.0%	
	活動コスト	円		-	18,449	96,113	
	単位当たりコスト	円		-	6,150	6,408	

事業の成果			
成果指標名	旅券(パスポート)発券事務	式又は説明	1件あたりにかかる事務時間(分)
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	15.00	15.00	15.00
対前年比	皆増		100.00%
到達目標値	10.00	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識	
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	市民二一ス	平成18年10月から権限移譲された事業であり、各法令等で定められた事業である。
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
市の関与	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	効率性評価<A-E>	C
	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	職	職場研修を実施するなど市民サービスの向上に努めている。また、予算面では、必要最小限で実施しており、これ以上の削減は困難と考える。
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
手	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が妥当でない	場	有効性の評価
	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求め職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	市民参画度	初年度(平成18年10月から)よりも申請・交付等の事務処理時間の短縮が若干図られた。今後も迅速かつ適正な対応に努めていく。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	有効性評価<A-E>	C
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	市民参画度	
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	事務処理をさらに適切かつ迅速にするため、職場内研修等を引き続き実施していく。また、接遇面においても、親切・丁寧な対応を心がけていく。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 900	結果指標量	20
成果指標量	13.00		

総合評価		評価区分<A-E>	C
平成18年10月から移譲された事業のため、事業初年度は、事務処理に時間を要したが、平成19年度は研修会への参加や職場の勉強会等を実施することにより、旅券の基礎知識の習得、申請から交付までの旅券発給事務の手続等を適切かつ迅速に行うことができ、市民の方にも満足いただける対応ができたと考えます。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果